

釜石市戦没者追悼式



開催概要 (平成22年度)

歳時名：釜石市戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：釜石市民文化会館
 (JR釜石駅 徒歩15分)
 日時：平成22年8月9日(月) ※例年8月9日開催
 参加者数：380人
 連絡先：釜石市 保健福祉部 地域福祉課 0193-22-2111 (代表)

式次第 (平成22年度)

1. 開式のことば… 市副市長
2. 国歌斉唱
3. 黙 禱
4. 式 辞… 釜石市長
5. 追悼のことば… 釜石市議会議長、岩手県遺族連合会会長、戦没者遺族代表
6. 電報披露… 釜石市保健福祉部長
7. 平和への思い… 作文コンクール優秀賞受賞者
8. 献 唱… 翳った太陽を歌う会
9. 献 花… 釜石市長、来賓、一般参加者
10. 閉会のことば… 釜石市副市長

式 辞 (平成22年度)

本日ここに、平成二十二年度釜石市戦没者追悼式を挙げるにあたり、戦没者並びに戦災殉難者の御霊に対し、謹んで追悼の誠を捧げます。

多くの尊い命が犠牲となった先の大戦から、六十五年の歳月が過ぎ、私たちは、今年も平和と繁栄を享受する中、この日を迎えました。

先の太平洋戦争をはじめ、過去の戦争において、軍人や軍属の方々はもとより、徴用、或いは動員された学徒や一般市民の方々が国の内外において散華されました。

当市においては、太平洋戦争の終結が間近であった昭和二十年七月十四日と、本日、八月九日の二度にわたり熾烈な艦砲射撃によって、市街地は壊滅的な打撃を受けて焼け野原となり、多くの尊い命が失われました。

犠牲者の中には、遠い異国の地であるこの釜石において、尊い命を失うという数奇な運命を辿った外国人の方々がおられることも忘れてはなりません。

また、世界唯一の被爆国として、広島や長崎に原子爆弾が投下され、瞬時にして、十数万人の同胞が犠牲となり、今なお、その後遺症に苦しむ方もおられます。

これらの出来事は、私達にとって、永遠に忘れることのできない深い哀しみであります。

我々釜石市民は、これからのことを決して忘れることなく、戦争の惨禍を繰り返すことのないよう、平和の実現に向けて努力することが、私達に課せられた使命であると考え、昭和三十四年に平和都市を昭和六十一年には非核平和都市を宣言し、また、本日もいみじくも「釜石市戦災資料館」を開館いたしました。

戦後、わが国は国民一人一人のたゆまぬ努力により、世界有数の経済大国へと飛躍的な発展を遂げて参りました。

しかし、今日の平和と発展は、祖国を思い、家族を案じつつ、花と散っていった諸霊の尊い犠牲の上に築かれたものであることを肝に銘じなければなりません。

今日まで、多くの市民の方々が艦砲射撃により瓦礫の山と化した中、或いは戦後の中で、家族を失った哀しみに耐え、チャレンジ精神の不撓不屈の精神を持って、あらゆる困難と苦境を乗り越えて、郷土の復興と発展に精励されました。

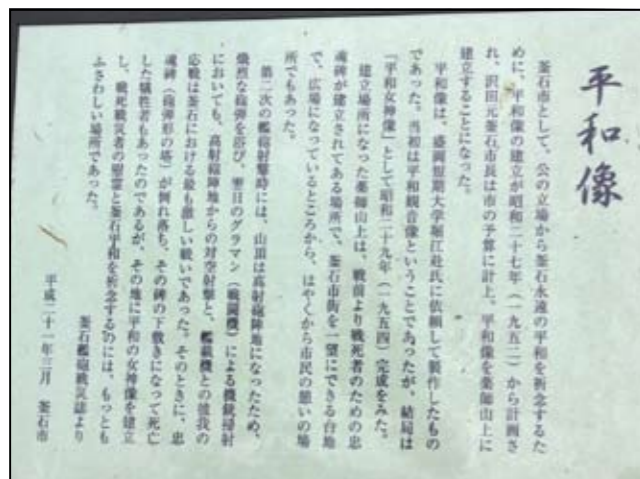
その並々ならぬご尽力に対し、心から敬意を表します。

この式典に臨み、私は、戦没された方々の御霊をお慰め申し上げ、平和への願いを改めて深く心に刻み、この悲惨な戦争の記憶を風化させることなく語り継いで行くため、一層の努力をして参ることを固くお誓いいたします。

結びに、戦没された方々のご冥福と、ご参列の皆様のご健勝、ご多幸を心からお祈り申しあげまして式辞とさせていただきます。

平成二十二年八月九日 釜石市長 野田 武則

平和女神像



基本情報

所 在：薬師公園
 住 所：岩手県釜石市大町
 (JR釜石駅 徒歩15分)
 連 絡 先：釜石市 産業振興部 観光交流課 0193-22-2111 (代表)
 建 立 者：釜石市
 建 立 年：平成21年3月

説明文

平和像

釜石市として、公の立場から釜石永遠の平和を祈念するために、平和像の建立が昭和二十七年（一九五二）から計画され、沢田元釜石市長は市の予算に計上、平和像を薬師山上に建立することになった。

平和像は、盛岡短期大学堀江赴氏に依頼して製作したものであった。当初は平和観音像ということであったが、結局は「平和女神像」として昭和二十九年（一九五四）完成をみた。

建立場所になった薬師山上は、戦前より戦死者のための忠魂碑が建立されてある場所で、釜石市街を一望にできる台地で、広場になっているところから、はやくから市民の憩いの場所でもあった。

第二次の艦砲射撃時には、山頂は高射砲陣地になったため、熾烈な砲弾を浴び、翌日のグラマン（戦闘機）による機銃掃射においても、高射砲陣地からの対空射撃と、艦載機との彼我の応戦は釜石における最も激しい戦いであった。そのときに、忠魂碑（砲弾形の塔）が倒れ落ち、その碑の下敷きになって死亡した犠牲者もあったのであるが、その地に平和の女神像を建立し、戦死戦災者の慰霊と釜石平和を祈念するのには、もっともふさわしい場所であった。

釜石艦砲戦災誌より
 平成二十一年三月 釜石市

嬉石町山林の地蔵

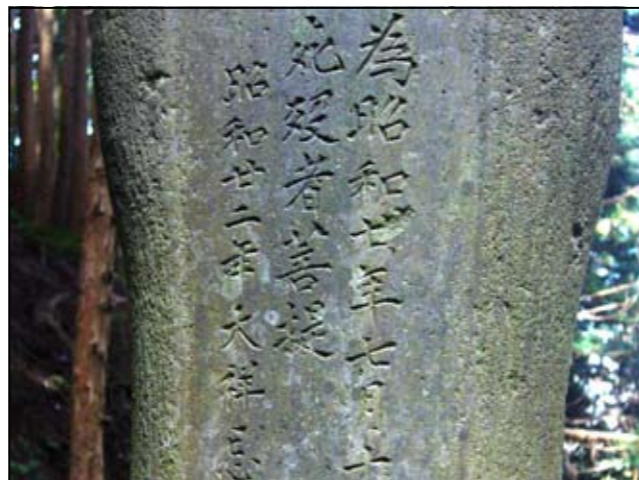


基本情報

所 在：釜石市嬉石町 山林
 住 所：岩手県釜石市嬉石町 1
 (J R釜石駅 徒歩25分)
 連 絡 先：不明
 建 立 者：不明
 建 立 年：昭和22年

碑 文

為昭和廿年七月十四日戦災
 死歿者菩提
 昭和廿二年大祥忌之辰建立



花巻市戦没者追悼・平和祈念式



開催概要 (平成22年度)

歳時名：花巻市戦没者追悼・平和祈念式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：日居城野運動公園内中央広場
 (JR花巻駅より岩手県交通 バス停「花巻球場前」下車 徒歩1分)
 日時：平成22年8月10日(火) ※例年8月10日開催
 参列者数：625人
 連絡先：花巻市生活福祉部 地域福祉課 0198-24-2111 (代表)

式次第 (平成22年度)

1. 開式のことば… 花巻市副市長
2. 国歌斉唱
3. 黙とう
4. 式辞… 花巻市長
5. 追悼のことば… 花巻市議会議長、遺族代表
6. 献花
7. 平和への誓い… 花巻市立西南中学校一年 長野 尚人さん
8. 合唱… 岩手県立花巻北高等学校合唱部
9. 非核平和都市宣言
10. 閉式のことば… 花巻市副市長

式辞 (平成22年度)

今年も穏やかに、この日を迎えることができました。

ここに戦没者の方々のご冥福を心からお祈り申し上げますとともに、最愛の親族を失われたご遺族の皆様、今なお、変わることのない悲しみに心から哀悼の意を表します。

先の大戦が終わりを告げて六十五年。戦いのなか、祖国を思い、家族を案じつつ、戦場に倒れ、遠い異郷の地で亡くなられた皆さん。そして、昭和二十年の今日、花巻を襲った空襲により、命を失うこととなった皆さん。

私たちは平穏な姿が見えますか。私たちの平和な地域社会が見えますか。

戦後日本は、たゆまぬ努力により、飛躍的な発展を遂げてきました。これは、皆さんを失った悲しみや苦しみに耐え、幾多の困難を乗り越えてこられた、ご遺族の並々ならぬご苦労の賜であり、ここにそのご努力に対し、改めて心から敬意を表します。

平和で豊かな社会が築かれ、戦後に生まれた世代が大半を占めるに至った今、私たちは、皆さんが、かけがえのない命をもって示された平和の尊さを決して忘れることなく、深く心に刻み、未来を担う世代にしっかりと継承してまいります。

核兵器廃絶の動きも世界に広がりつつあります。戦没者の皆さんの心と、私たちの平和への決意をつなぐ、この「平和の扉」を前に希望にあふれ世界全体が心豊かに暮らすことができる社会の実現に向けて、この花巻から平和への願いを発信し続けることをここに誓い、式辞といたします。

平成二十二年八月十日
 花巻市長 大石 満雄

爆弾投下塔 平和の誓



基本情報

所 在：藤木大明神
 住 所：岩手県花巻市大通り1
 (JR花巻駅 徒歩2分)
 連 絡 先：不明
 建 立 者：菊池彦次郎
 建 立 年：昭和30年8月10日

碑 文

【表】

昭和二十年八月十日

爆弾投下塔

平和乃誓ひ

引揚援護長官 齋藤惣一
 同胞とむつび あいつつ
 新なる國の礎 きづきゆかばや
 菊池氏に
 引揚同胞に對する好意に感じて

【裏】

昭和三十年八月十日 菊池彦次郎建立

やすらぎの像



基本情報

所 在： J R花巻駅 東口ロータリーの東端
 住 所： 岩手県花巻市駅前大通り 1-1-43-2 付近
 (J R花巻駅 徒歩1分)
 連 絡 先： 花巻市 都市整備課 0198-24-2111 (代表)
 建 立 者： 花巻空襲に基づく平和祈念の像建設促進会議 ほか
 建 立 年： 平成7年3月

碑 文

【表】

「やすらぎの像」

昭和二十年八月、太平洋戦争の終戦間際、花巻市内が空襲を受けましたが、特に、この花巻駅周辺の空襲は激しく、死者負傷者多数を数えたほか、建物等にも甚大な被害を受けたのであります。

爾来、多くの方々の不屈の精神と心血を注ぐ努力により、焦土と化した花巻駅周辺をはじめとする市街地も見事に復興整備をみたところ です。

都市基盤の整備が進む今日、市民から平和祈念の像の建設の話が持ち上がり、建設促進会議が中心となって広く市民に呼びかけたところ、壱千貳百万円を越す浄財が寄せられました。

ここに、戦後五十年を迎え、花巻空襲の激しかったこの地に、恒久平和を願い「やすらぎの像」を建立するものです。

平成七年三月建立
 花巻市長 吉田 功

【裏】

「やすらぎの像」建立について

市老連会長佐藤通郎氏が中心となり
 次の団体の努力を得て建立しました。

花巻空襲に基づく平和祈念の像建設促進会議
 花巻市老人クラブ連合会
 花巻市地域婦人団体協議会
 花巻市区長会

原像作成 池田次男
 制 作 岩手製鉄株式会社

昭和20年(1945年)8月10日ひる

来 襲 米軍艦載機グラマン15機
 投下爆弾 20個(推定)
 機銃掃射 各所
 死 者 42名
 負 傷 者 約150名
 焼失家屋 673戸
 倒壊家屋 61戸

資料 花巻市中央公民館発行
 「忘れまいあの日」より

平和の祈り



基本情報

所 在： J R 似内駅脇
 住 所： 岩手県花巻市上似内第 9 地割付近
 (J R 似内駅 徒歩 1 分)
 連 絡 先： 不明
 建 立 者： 上似内振興会
 建 立 年： 平成 1 7 年 8 月 1 0 日

碑 文

【表】

平和の祈り

【裏】

昭和二十年（一九四五）八月十日太平洋戦争の末期、米軍の戦闘機による爆撃を受けこの地で次の五名が尊い命を失った。

（氏名略）

終戦六十周年を記念し、上似内地区民は永久の平和を希求しここに記念碑を建立す

平成十七年（二〇〇五）八月十日

上似内振興会

